

会 議 録

会議の名称	第1回 飯塚市地域情報化計画推進委員会
開催日時	令和6年5月17日（金） 14:00～16:00
開催場所	飯塚市役所 5階研修室
出席委員	川原委員長、二摩副委員長、平川委員、下原委員、田村委員、星野委員
欠席委員	勝瀬委員、中山委員、伊藤委員
事務局職員	【業務改善・DX推進課】中嶋課長、上田課長補佐、仲村係長、福田
会議内容	<p>● 開会</p> <p>議事1 令和5年度飯塚市地域情報化計画推進プラン年間報告について</p> <p><各委員から出された主な質問・意見></p> <p>● 「安全安心・防災減災情報共有化の推進」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害シーズン前の ICT 機器等の動作確認の提案をしたが、防災無線の動作確認についての回答のため ICT 機器等の動作確認についてお伺いしたい。 <p>⇒事務局：担当課に確認し回答する。</p> <p>議事2 飯塚市地域情報化計画後期推進プランの確認について</p> <p><各委員から出された主な質問・意見></p> <p>● 「市民の情報リテラシー向上の取組」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館で保管している各教室・講座用タブレット13台を今年度は様々な講座等で有効活用していただきたい。また、当該施設への教室・講座用PC（タブレット端末）設置について、後期の整備計画がなくなった理由を教えてください。 <p>⇒事務局：中央公民館で保管しているタブレット13台の活用方法及び講座用のパソコンの整備計画については担当課に再度確認し回答する。</p> <p>● 「安全安心・防災減災情報共有化の推進」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の情報発信については、防災情報は様々なツールで情報発信したほうが良いと感じており、そのひとつに自治会デジタルツールを入れてもいいのではないか。 <p>⇒事務局：防災関連の情報提供について、地域の防災を担っている自治会への情報提供のあり方についても検討し担当課より回答</p>

する。

●市民の情報リテラシー向上の取組について

- ・後期の集大成として市民に対して包括的に飯塚市で提供しているサービスや体験をまとめてやる場所と時間を提供すると情報リテラシーの推進状況が改善するのではないかと思う。

●オープンデータの活用促進について

- ・国が定めたデータのみではなく、飯塚市は積極的にデータを出し、それを活用して何か工夫できる余地がでてくると思う。

⇒事務局：国が定めたものは基本的に公開している。飯塚市が持っている個人情報を除いたデータを活用できると考えているが、まだそこまでは公開に至っていない。オープンデータとして基本的に公開できるものは全て公開できるよう積極的に進めていきたい。

議事3 デジタル化の提案について

デジタル化の提案について、関係する担当課の方に既存施策に含めてもらうか、新規の施策を立ててもらおうか等の検討を、事務局を通してお願いしたいと考えている。

- 「デジタル化システムの導入による教員の研修の実施」について
教員向けの新システムを導入するだけでなくそれに伴う研修等をしたほうが良いと考える。また勤務時間に限りがあるため、システムを導入するだけでなく業務の一部をサポートするようなコミュニティスクールディレクターを検討し導入していくことも必要ではないかと考え提案させていただいた。

●「AIの学習データの整備」について

AIチャットボットで回答できないものについて、回答を検討するというプロセスが必要なのではないかと考え提案させていただいた。ホームページに載っているものしかおそらくは回答できないので、ホームページの中に新しい回答を作り回答させるなど、そういうことも含めて検討していただきたい。

●「子育て支援に関する情報発信」について

市から発信される住民向けの情報は、広報誌や交流センターだより、公式ホームページ、複数のSNSなど様々あるが、自治体アプリや母子手帳アプリを導入して情報を一つのツールに集約することで、市民にとって利便性が高まると思い提案させていただいた。子育て支援に限らず、ある分野で情報を得たい時にこのようなニーズがあると思うので、仕組みづくりを念頭に、アプリに限らず他の策でも反映できるよう検討していただきたい。

- 「子ども医療費受給資格証のデジタル化」について
紙媒体で交付している子ども医療費受給資格証について、マイナポータルを活用し、オンライン申請をしてデジタル資格証としてスマホに表示され、医療機関で利用できるようなものがあればいいと考え提案させていただいた。
- 「飯塚市における AI DX 推進人材の育成」について
DX 人材が深刻な不足をしているなかで、飯塚市在住または在勤の方を対象とした JDLA 認定近畿大学産業理工学部 AI エンジニアリング育成プログラム (E 資格対応) の活用や外部講座の受講費の助成のような事業の実施を提案する。また、市民向けの提案だが、市職員側でこのような形の人材育成に関するシステムを構築し、市民や民間へ展開するような形になれば、ノウハウが伝えられていいと考えるので、市民向けの施策と市職員向けの施策を合同で検討していただきたい。
- 「小中学校におけるパソコン教室の機器及び環境等の有効活用」について
小中学校の使われなくなったパソコン教室及びパソコンを各交流センター等で有効活用できないか提案させていただいた。まずはパソコンの台数と動作の確認や、パソコン教室の有効活用できるかどうか、地域の実情に合わせた運用など検討していただきたい。
- 「民間事業者 (UberEats など) と連携した買い物支援共同事業」について
民間事業者とタイアップしてスマートフォン 1 つで決済まで完了し、物資を自宅まで届けるような施策ができないか提案させていただいた。民間事業者と連携することで見守りの強化にも繋がると考える。後期推進プランシート施策 2-2-2 の高齢者の見守りのひとつの実証として検討していただきたい。

その他(スケジュールについて)

- 閉会